

大麦管理特報

令和3年5月26日

魚津市
魚津市農業技術者協議会

今後平年並みの気温で推移すると、成熟期は5月末頃からと見込まれます。適期刈取りに努めましょう。

生育に差がみられる場合は、子実や茎葉の黄化状況と水分を確認し、成熟の進んだほ場から順次収穫を行ってください。

1 収穫 ～子実水分30%で収穫開始～

- (1) 収穫は、子実や茎葉が完全に黄化し、ほ場の半分程度の穂首が折れ曲がった頃が目安です。子実水分が30%以下となったほ場から開始しましょう。
- (2) 収穫期（始期）の予測

集落名	刈取開始の目安
蛇田	5月30日頃
川縁	5月31日頃
三ヶ	6月1日頃
住吉	6月3日頃
吉野、東尾崎、大海寺野	6月4日頃

- 左表は現時点での刈取日予測です。
- 成熟期を迎えたほ場から収穫しましょう。
- 早刈りは空洞粒になりやすく、刈遅れは硬質粒や熟色不良となりやすいので、適期に刈取りましょう。

2 収穫前の雑草、被害粒及び異物の扱い

- (1) ほ場内に、カラスノエンドウが発生している場合は、収穫前に必ず抜き取ってください。
- (2) 強風による飛来物（金属・プラスチック片等）は、収穫前にはほ場から取り除き、刈取りでの混入を防ぎましょう。



カラスノエンドウの種子や異物が混入するとその選別は困難です。
異物混入のクレームや返品が多くなっていますので、収穫前の除去をお願いします。

- (3) 赤かび粒や麦角粒などの被害粒が見られた場合は、別扱いしましょう。

3 乾燥・調製 ～高品質大麦の総仕上げ～

- (1) 刈取後は直ち（4時間以内）に乾燥機に張り込みましょう。
- (2) 2.3ミリの篩目を使用して適正流量を守り、容積重を高めましょう。

異種穀粒の混入を防止するため、コンバインや乾燥調製施設の清掃を徹底しましょう。